

高齢者帯状疱疹ワクチン定期接種について



深浦診療所 医師 加藤 昇

今回は、4月から定期接種となっている高齢者帯状疱疹ワクチンについてお話しします。当診療所でワクチン接種を希望する方は順調に増加しており、診察中にワクチンの選択や接種時期について相談を受けることがあります。改めて皆様に、情報を整理し、医学的観点からお伝えいたします。

まず、定期接種の対象者は2025年度内に65歳を迎える方です。そのほか、今後5年間の経過措置として、その年度内に70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳になる方が対象となります。100歳以上の方は2025年度に限り全員が対象です。対象者には町から案内が届いていると思います。これ以外の方のワクチン接種は、従来どおり任意接種（助成なし）となります。

そのワクチンには2種類あり、違いは次の表のとおりです。

	乾燥弱毒生水痘ワクチン (生ワクチン)	組換え帯状疱疹ワクチン (組換えワクチン)
接種方法	皮下に接種	筋肉内に接種
接種回数と間隔	1回	2回 (2か月以上の間隔をあける)
自己負担額※	3,641円	10,141円×2回分
予防効果	接種後1年 60% 接種後5年 40% 接種後10年 -	接種後1年 90% 接種後5年 90% 接種後10年 70%

※深浦町民が当診療所で接種する場合

このほかに、ワクチンの種類を選ぶ際には注意が必要な点があります。それは、生ワクチンは弱毒化されているものの、病原性をわずかに残しているため免疫機能に異常のある疾患を持つ方や、ステロイド、抗がん剤、メトトレキサートなど免疫抑制を引き起こす治療を受けている方には接種できないことです。

副反応についてはどちらのワクチンでも見られますが、一般的に組み換えワクチンの方が接種部位の痛みや腫れが強いと言われています。以上のことから、予防接種の目的である発症および合併症の予防の観点から、組み換えワクチンの選択が望ましいと考えられます。80歳までに全人口の3分の1が発症するという研究結果もあり、いずれのワクチンを選択する場合でも接種をお勧めします。

当診療所での接種を希望する方は、来所されるか電話予約(82-0337)をお願いします。

ただし、生ワクチンを希望する場合、電話予約では病歴や服用薬剤の情報が正確に把握できず、当日接種できない場合があるため、来院して相談した方がスムーズな接種が可能です。

らしかるで、転倒予防&認知症予防!

新規ご利用者様 募集中!

介護予防に!

いつまでも健康でいたい!

病院退院後のリハビリに!



送迎
あります

Laical 夕陽公園 深浦港
みちのく銀行 青森銀行

社会福祉法人 西寿会
リハビリ特化型デイサービス

リハジム Laical
らしかる

まずはお電話を TEL0173-82-0551
青森県西津軽郡深浦町字浜町137-1
http://www.hamanasuso.com



海の生き物とふれあう子どもたち

海の生き物たちについて学ぶ

7/9

自然の神秘さや不思議さを学んでほしいと、青い鳥保育園で数年ぶりに自然体験学習「わくわく体験シリーズ 海の生き物とふれあおう!」が開催されました。

園内のホールに、日本自然保護協会自然観察指導員の永澤量さんが事前に岡崎海岸で捕まえてきたイソガニやイシダタミ、ヤドカリなどの生き物や海藻など10種類以上が用意されました。

子どもたちは永澤さんから捕まえてきた生き物の名前などについて説明を聞いた後、それぞれ興味のある生き物に触れていました。子どもたちは海の生き物に興味津々の様子で水槽のぞき込んで生き物を観察したり、実際に手に取ったりして海の生き物とのふれあいを楽しんでいました。

中村さん、100歳を迎える

7/11

グループホームトント園に入所している中村リヨノさん(大間越)が100歳を迎え、施設の職員や入所者からお祝いされました。中村さんは1925(大正14)年、八峰町生まれ。グループホームトント園の入所者として初めて100歳を迎えました。

中村さんは、楽しいことや面白いことが大好きで、ザ・ドリフターズのDVDを手を叩いて笑いながら鑑賞しているそうです。普段の生活でも、施設の職員に冗談を言ったりしながら笑って過ごしているそうです。

この日100歳を迎えた中村さんへ、施設の職員から金の箸とお祝いのケーキが贈られ、少し照れた様子でしたが、とても嬉しそうにしていました。



100歳を迎え、施設の仲間から祝福される中村さん

令和7年度深浦町の森林を活かす林業実践セミナー開幕!

7/16



講師の古川大輔代表取締役

林業事業者の経営力および技術力の向上を図るとともに、豊富な森林資源を有効利用するための具体的な手法を探るため、株式会社古川ちいきの総合研究所 代表取締役の古川大輔氏を講師に迎え、「令和7年度深浦町の森林を活かす林業実践セミナー」を開催しました。

古川先生の豊富な知識と経験に基づく、林業に「ビジョン」や「マーケティング」といった新たな視点を取り入れたお話は、深浦町の林業関係者にとって、新たな気づきや具体的な実践へのヒントを与えてくれました。

受講者から、「林業にロマンという発想に驚いた」、「改めて自分の頭の固さに気付いた。柔軟な発想が必要だ」などの声が聞かれました。本セミナーは4回にわたって開催され、今回はその第1回目です。

事業承継について学ぶ商工業者向け地域合同セミナー 開催

7/17

町と町商工会は地元金融機関と連携を図り、事業承継に係る情報や経営者の高齢化、後継者不在といった問題を共有し、解決することを目的に深浦町地域合同セミナー・相談会を開催しました。

共催する(公財)21あおもり産業総合支援センター等の各種団体から講師を招き、青森県内の現状、事業承継に係る支援を紹介いただきました。

23名の参加者からは、「簡潔でわかりやすく、よかった」「後継者問題に関心があり、また参加したい」といった感想が寄せられました。今回参加できなかった方でも、町では個別相談を受けますので、観光課までお気軽にお問合せください。

